

5. もしも、サキュバスを呼び出せる漫画喫茶があったら…

◆受付女性店員

いらっしゃいませ！すみません、今日もあいにく満席なんです～。
ちょっと呪われた個室なら空いてるんですけどね？
そちらでも大丈夫ですか？
あはは～、そうですよねえ。
どんな風に呪われているか次第ですよね～。
いやあ、……前に使ったお客様が勝手に、
悪魔を呼び出せる魔法陣を書いて行っちゃったんですよね～。
ホント、困っちゃいますよ！
……勿論、消そうとしましたとも！
でも、消しても消しても浮かび上がってくるんです。
ただ、強力な結界は張れたので、お陰で個室の外には出てこないんですけど。
あ、呼び出さなきゃ問題はないですよ。
魔法陣書いてあって、ちょっと落ち着かないとは思いますけど。
呼び出さなければ何の問題もありません！
だって、その魔法陣、サキュバス……夢魔、淫魔？って言われる奴が出てきちゃうんで。
……あ、その個室でいいですか？
では、ご案内しますけど……、絶対に呼び出しちゃダメですよ？
なんてったって……呪われてますからね。

それじゃあ、いってらっしゃい～。

◆礼儀正しいサキュバスの声

あの……はじめて。

私を呼び出してくださいって……ありがとうございます。

ようやく慣れてきましたが、私、大きな声を出しちゃいけない場所で呼び出される運命にあるようで……。

私のことは、ご存じですか？

……良かった。

ええ、そうです、サキュバスです。

知っていて呼び出しちゃうなんて、一応悪魔だって知らないんですかねえ……。

ちなみに、サキュバスと会うのは初めてですか？

……そうなんですね。

それでは、簡単にサキュバスとは何か、を説明しますね。

サキュバスは、夢魔、淫魔と呼ばれていて、……そうですねえ。

えっちなことをする代わりに、人間の精気をちょーーーーっともらうって感じでしょうか。

あはっ、昔は全部貰い切ってたんですけどね？

今は情報社会だとかで……、そういうことすると呼び出してもらえなくなっちゃうんです。

みんな死んじゃうのは嫌ですもんね。

だから、最後にちょっとだけ精気をくださいね。

……静かなまますると、夢の中でどっぷりするのと、どちらがお好みですか？

……夢の中、ですね？

はあい、では貴方をこれから、めぐるめぐ淫夢の世界へ誘いますね。
……目をつむってください。

さあ、目を開けていいですよ。
……あんな狭い空間じゃ、何も出来ないでしよう？
だから、夢の中って便利ですよね。
場所も、ベッドも、何もかも自由自在です。
……あ、服が無くなったの、気になりますか？
だって、淫夢の中で洋服なんて必要ないでしよう？
そんなもの、最初からなればいいんです。
……おっぱい、触りたいですか？
……いいですよ。
いくらでも、触ってください。
触り心地がいいように、身体中ぬるぬるにしておきますね。

ああんっ♡そんなに急いで揉まなくてもおっぱいは逃げませんよお～。
うん、……あんっ！！
どんなにされても大丈夫ですけど……あんっ！
こんなになってるおちんちんの方が、大変じゃないですか？
……おっぱいで挟んで、気持ち良くなりましょう？

どう～？この方が断然、気持ちいいでしょう～？
おっぱいもっと大きくすることもできるんですよ～。
……十分ですか？
ふふ、欲がない人ですね。
……パイズリしたままフェラ？
そんなの……お手の物ですよ。

じゅぶぶぶぶぶ！じゅぶぶぶぶぶつ！！！
じゅっぷじゅっぷじゅっぷじゅっぷ……
じゅぼぼぼぼぼ、じゅぼぼぼぼぼ……
んきゅ、んきゅ……じゅぶぶぶぶぶ……んきゅ、んきゅ！
じゅるるる……じゅるるる……
ちゅぶ……ちゅぶ……じゅるるるる……
じゅっぽ、じゅっぽ、じゅっぽ、じゅっぽ……
もう出ちゃいそう？
夢の中なら、何度だって射精出来ちゃうんです。
何度でもイってくださいっ！
じゅっぽじゅっぽじゅっぽじゅっぽ……
じゅぶぶぶぶぶ、じゅぶぶぶぶぶつ！
じゅっぽじゅっぽじゅっぽじゅっぽ……
じゅるるるるるる！じゅるるるるるる！！！
はい、全部飲みますから、さあ、どうぞ。

じゅるるるるる……ごきゅ……

ああ、美味しい……

人間の精液って、どうしてこんなに美味しいのでしょうか。

どんな高級ワインよりも甘美で……、何リットルでも飲み干したい……

いいえ、出そうと思えば出ますよ？

だって、淫夢の中ですから……ふふつ。

さあ、次はどうしたいですか？

……もちろん、生でいくらでも突いていいんですよ？

どうぞ？

ああっ！！イイっ！！もっと奥を！！突いてえっ！！

激しく、そのたびにきゅっと締め付けてあげますからっ！

あんっ！！あんあんっ！！！

声だって、どんなに出してもいいんですよ？

だって、夢の中なんですからっ！

あんっ！！あんっ！！！！

イク？……それじゃあ、一番奥で全部出しちゃってください！！

あああああ、こんなにもたあくさん……精液をくださって……

ちゅぶ……じゅぶぶ……ちゅぱちゅぱ……

ああ、大変っ！

おちんちんにもまだ、精液が残って……

じゅるるるる……

ちゅ~ぷ~ぷ~ぷ~……ちゅ~ぷんつ！

ああ、美味しい……、一滴残らず、舐めつくしたいっ！！

……もう、出ない？

いえいえ……まだ出ますよ？

ほら、いくらでも……っ！！！

……ふふ、人間って面白いですね。

そんなにも恥じらいとか、秘め事っぽい背徳感が欲しいものですか。

いいですよ？

じゃあ、次は……

淫夢ではなく……、あの狭い部屋の中で、思う存分楽しみましょう……

ちゅつ……♡

◆受付女性店員

ご利用ありがとうございます……ああ、あのお部屋からの帰還ですね。

皆さん、あの部屋から出られるとげっそりされているんですよね。

それから、何度もお部屋の外からお伝えしましたが……

延長料金をいただきますね。

三日分ですので……、一万八千円です！

……呼び出しちゃいました？

そうですよね～。

だからあんなに言ったのに、呼び出さない方がいいですよーって。

まあ、店としてはドリンクも飲まずにただ三日居続けてくれるので、本当にラッキーなんんですけど～。

はい、ちょうど一万八千円いただきます♪

……またいらしてくださいねえ～。

ありがとうございました～！